

しばたまち交流ひろば

ゆる。ぷら倶楽部



2014.3.1 ニュースレター第 44 号

体験会レポート!!

◎ 『和紙ちぎり絵のお雛様』 2月1日(土)実施



講師:小野寺さんより..

下絵のラインをはっきり決めていないので、皆さんそれぞれ違いが出て、それが個性となり素晴らしい作品が出来ました。

前列中央が講師の小野寺さん。

お顔や雰囲気がそれぞれ素敵です♪

◎ 『綿棒の立ち雛』 2月2日(日)実施



参加者の方の声

- ・昨年も参加して今年も楽しみにしていました。毎回工夫が素敵です。
- ・ご親切にご指導いただきまして楽しく過ごせました。
- ・感動の作品が出来ました。楽しいひとときでした。



次ページに続きます



皆さん楽しんでいただけて良かった!

◎ 『はなみちゃんのシャドーボックスキーホルダー』 2月22日(土)実施



小学生の参加が目立ちました。
はなみちゃんの人気がうかがえます！

講師の平井先生より
サプライズ企画!!



ジャンケンに勝った人に、
なんと“はなみちゃん”の
イヤリングをプレゼントして
いただきました！



“はなみちゃん”とてもかわいいキーホルダーになりました♪

講師:平井さんより・・・

小学生のお子さんも
きれいに出来て、皆さ
ん時間内に完成して良
かったです。

◎ 『プリザーブドフラワーの花かご』 2月23日(日)実施



皆さん談笑しながら、あっという間の2時間だったようです。



きれいに出来て
良かったです。
楽しかったです！

岩沼から参加のお友達！



参加者の方の声
春らしいきれいなお花。
立派な作品が出来て嬉しかったです。

講師の吉村さんより・・・

予定よりも多くたくさんの方
々に来ていただいて、楽し
く作っていただきました。
完成した時の“楽しかったで
す。”の音が嬉しかったです。

まちづくり推進センター情報

【地域づくり支援員レポート】

まちづくり推進センター（ゆる.ふら）を拠点に地域支援活動をしている「地域づくり支援員」。その地域づくり支援員からの巡回レポートです。

地域におけるごみ資源回収活動は、ゴミを資源として有効活用していくとともに、地域活動の貴重な財源確保の手段の一つとして各行政区で取り組みが浸透してきています。今回は、年明けの寒さが厳しい時期に実施された3つの行政区のゴミ資源回収活動取材しましたので、その様子を紹介します。

1. 行政区第4区ごみ資源回収（平成26年2月16日（日））

前日の大雪にも関わらず、区長、役員、班長にボランティアを加えた総勢14名が第4行政区集会所に集まりました。

始めに、回収業者が資源ゴミを積み込む場所（コンビニの一角を借用）の除雪からスタートです。一方では、軽トラック2台に男性二人ずつ分乗し各戸の玄関前に出してある資源ゴミ回収の作業、女性たちは普段から区民が集会所倉庫に集積している缶類のアルミ缶、スチール缶などの仕分け作業を進めます。

資源ゴミの分類は、アルミ缶、スチール缶、新聞紙、雑紙（雑誌含む）ダンボール、布切れとなっており、取引している業者は布製資源の綿、化繊混合にも関わらず高単価で引取って頂いているそうです。

—第4区丹野区長にインタビュー—

「行政区には27班あります。それを4グループに編成し回収当番は輪番制にしています。区民の皆さんが協力的で、回収日には多くの資源ゴミが回収できています。特に普段から集会所の倉庫を開放して集積所にしていることも高い回収率につながっていると思います。また、回収業者を探すのに苦労しましたが、現在お願いしている岩沼の業者さんには快く引き受けていただいています。これからも環境保全、ゴミ処理経費削減と更なる収益金（町から資源回収量×1Kg当り2円の助成金あります）の区費繰入アップをめざし、資源ゴミ回収事業を継続して行きたいと思います。」とのお話がありました。



2. 行政区第9A区資源ゴミ回収（平成26年1月19日（日））

第9A区では、ごみの減量・資源化で循環型社会の実現と地域づくり活動の財源に活用することを目的として「資源ごみ回収」が行われています。平成16年から毎月第3日曜日に実施しており、町の「ゴミの出し方カレンダー」に「9A区資源回収日」のシールを貼付して地域の皆さんに周知しています。この日は、正月明けということもあり大量の資源ごみが回収されました。3台の軽トラックで行政区内20箇所のごみ収集場所から資源ごみ（紙資源・缶類）を回収、土手内集会所に集められました。

前のページより

当番班の皆さんを始めとする大勢の方が分別作業を行い、待機中の大型ごみ収集車4台に積み込まれました。

今回の当番となった20班・21班の皆さんは黙々と分別作業を行い、終了時には「協力するのは当たり前」と話してくれました。

—第9A区中島区長にインタビュー—

「柴田町公衆衛生組合が推進する3Rに賛同して始まった「資源ごみ回収」は、地域の皆さんの理解・協力のお陰ですっかり定着しました。町全体でごみの減量・資源化を行い、循環型社会の体制づくりを推進したいと考えています。資源回収もそうですが、地域づくりには地域の皆さんの協力・支援が不可欠です。」とのお話がありました。



3. 行政区第11C区資源ゴミ回収 (平成26年1月25日(土))

今年度第3回目の資源ゴミ回収には、午前8時30分のまだ寒い中、新栄2号公園脇に区長をはじめ、資源ゴミ回収実行委員会委員や役員など、総勢13名が集合しました。



中には、集合時間前から回収している方がいるなど、回収作業への意気込みが感じられました。作業前に吉良区長より回収作業時の安全確認などの注意喚起があり、ヘルメットが配布された後、軽トラック5台に2人ずつ分乗し区内30ヶ所の集積所から資源ゴミの回収に向かいました。私たちも区長の車に同乗させてもらい巡回しました。回収内容は、新聞紙、雑誌、ダンボール、雑紙で分類ごとに軽トラックに積んで回収業者に搬入する手順で進められました。課題として

は、回収作業までに時間を守って資源ゴミを出してもらう意識付けが必要とのことでした。

—第11C区吉良区長にインタビュー—

「11C区では、地域計画に基づきゴミ置場のスチール製化を進めています。木製のゴミ置場は劣化で修理不可能の箇所もあり、資源ゴミ回収の収益金を財源の一部に充てて、5ヵ年計画でゴミ置き場の更新を進めたいと考えています。実行委員会を組織する事により、多くの区民が回収作業に参加するようになり、大変嬉しく思っています。現在、スチール製のゴミ置き場の試作品を1ヶ所設置したところで、機能性や利便性（置場内整理整頓、清掃等）を追求し、改良を図った上で、順次更改していきたいですね。」とのお話がありました。

柴田町地域づくり支援員 本郷良治 大内 進

2月は記録を更新するほどの大雪があり、重い雪かきや歩きにくい道路状況で皆さん大変な思いをされたことと思います。

カレンダーを一枚めくり3月に入っただけでも一歩ずつ春が近づいている感じがしますね。

早く暖かい春風が吹き、明るい色の洋服を着てお出掛けしたい今日この頃です。

ゆる.ぷらスタッフ

(お問合せ先)

■しばたまち交流ひろば ゆる.ぷら
(イオンタウン柴田内)

電話 86-3631 FAX 86-3641

eメール yurupura@town.shibata.miyagi.jp

開館時間 10:00~18:00

<3月の休館日:毎週月曜日>

■柴田町まちづくり政策課

電話 54-2111 FAX 55-4172

